



2016年1月 第405号

スズキ労連

2016年
新春号

スズキ関連労働組合連合会
静岡県浜松市南区増楽町20
電話〈053〉447-3079
発行人 根木 一暢
編集人 金子 孝枝

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。

2016年の新春にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、スズキ労連の活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

昨年は、4月に統一地方選挙が実施されスズキ労連政治顧問の田口章静岡県議会議員および徳光卓也浜松市議会議員がそれぞれ二期目の当選を果たすことが出来ました。両議員においては、働く者の代表として行財政改革をはじめとする様々な議会活動に勇往邁進することを期待するとともに、引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

自動車産業は、消費税増税後の反動減からの回復の遅れや、軽自動車税の増税等により国内生産・販売ともに2015年初めから前年割れが続く厳しい環境に置かれています。

自動車関係諸税の取り組みは、上部団体である自動車総連や各級議員と連携し、ユーザー目線で「負担軽減・簡素化」に向けた税制改正要望を取りまとめ、政府・与党に対する取り組みを実施していきます。

本年7月、参議院議員選挙が実施されます。スズキ労連では、昨年1月の中央委員会において、組織内候補予定者として「はまぐち誠」さんを推薦し、全力で応援しますのでスズキ労連の全組合員で支援の輪を広げていただきますよう心からお願い申し上げます。

さて、働く人が持てる力を最大限発揮していくためには、安心して働ける安全な職場環境の整備が必要であり、同時に個人の心身の健康確保が必要であると考えます。また、職場の安全確保は、従業員のみならず、外部業者の方も含めて、社内で災害を発生させないとの思いで取り組んでいただきます様お願い申し上げます。

結びに、本年もスズキ労連執行部一同が、心ひとつになって時代の変化に対応した労働運動となるよう取り組みますので、本年も変わらぬご支援をお願いすると共に、組合員とご家族の皆様にとって幸多き一年になる事をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

2016年1月

スズキ労連会長 根木 一暢

謹んで新春のお慶びを申し上げます

日頃は、「はまぐち 誠」の活動に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

いよいよ勝負の年となりました。本年におきましても「みんなと つなげる 明るい未来」のメインメッセージのもと、一人でも多くの組合員とその家族の皆様にお会いし、「はまぐち 誠」の名前を覚え、書いていただけるよう全力を尽くす決意です。仲間の皆様の最後までのお力添えをお願い申し上げます。

本年が組合員の皆様とご家族にとって幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



全日本自動車産業労働組合総連合会

組織内候補予定者 はまぐち 誠

田口章(静岡県議会)&徳光卓也(浜松市議会)から新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年が皆様にとって良い年になりますよう心からご祈念申し上げます。

昨年末、私にとって2つの嬉しい受賞がありました。ひとつは浜松市の「出世大家康君」が「ゆるキャラグランプリ」で見事グランプリを受賞したこと。もう一つは、私が所属する会派の政策集「覚悟」が第10回マニフェスト大賞で優秀賞を受賞したことです。こちらは家康君と違い、最優秀賞を逃しましたが、政策の方向性について客観的な高い評価を頂きました。会派政調会長としては満足はしていませんが、大きな励みになりました。

本年は選挙権年齢が18歳に引き下げられます。それも踏まえ私たちは「ふじのくにカフェ～静岡の若者と語る会～」という県民参加で政策を考える新たな取り組みも始めました。関心が低いと言われる若者にも政治に身近に感じてもらえるよう努力していきます。

政治的には参議院選挙という大きなヤマを迎えます。「はまぐち誠」さんは、労組役員時代からの旧知の中ですが、パワフルな行動力と緻密な政策力を合わせ持っている適任者です。みんなで応援していきましょう。

私の今年のスローガンは、昨年に続き「全力」です。県政2期目も2年目を迎えます。会派名が「ふじのくに県議団」から「ふじのくに県民クラブ」に変わり、3人の仲間を加え20人であらたな年のスタートを切りました。地方創生、地方分権時代に相応しい政策集団として活動の先頭に立ってまいります。

今年も元気いっぱい走り回りますので、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

皆様方にはこれまで以上にお世話になることと存じますが、倍旧のご支援をお願い申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。今年もよろしく願いいたします。

静岡県議会議員 田口章



真の地方創生を目指して

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年4月の統一地方選挙では、皆様にご支援をいただき、二期目の市議会の場に送り込んでいただきました。皆様のご期待にそえるよう、全力で市政に取り組んでまいりますので、これからも、皆様の仲間として応援をいただけたら幸いです。

「地方創生」という言葉を耳にした方も多くと思います。安倍政権は、まち・ひと・しごと創生法を成立させ、担当大臣を置き、地方を活性化させようとしています。これは一見地方にとって良いことのように思えますが、政府の施策と合致する政策に交付金を付けたら、交付金をちらつかせて計画を前倒しするようになり…。GDPが2四半期連続でマイナス成長となるなどアベノミクスに陰りが見え始めた今、ローカルアベノミクスと言われる地方創生に活路を見出しているようにも見えます。

今まで、地方は国を見て仕事をしてきたように思います。それは、国が様々な地方で行う事業に対し基準を示し、交付金などを付けてきたからです。地方は知らず知らずのうちに、その基準に合う事業をすることになってしまいました。

真の地方創生とは、地方が国の顔色をうかがうのではなく、市民の皆さんにとって今何が必要か、将来のために今何をすべきかを考え、実行することです。地方が向くのは「国」ではなく「市民」です。今年も「いつも市民目線で」をスローガンに本年も市政に携わってまいりたいと思います。

本年も、どうぞよろしく願いいたします。

浜松市議会議員 徳光卓也



仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。



こんな時にはお電話を!

0120-500-073

*月～金 9:00～18:00

相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : kaneko@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード… saw2007